

THE TOWABANK 2025

東和銀行の現状と取組み

1. 東和銀行の取組みについて
～長期ビジョンと中期経営計画ついて～
2. 2025年3月期 第3四半期決算について

東和銀行の取組みについて ～長期ビジョンと中期経営計画～

THE TOWABANK



パーパス策定の経緯

新たな中期経営計画をスタートするにあたり、東和銀行の存在意義を改めて定義し、全行員の認識を一つにするため、パーパスを策定すると共に、企業理念体系の整理を行いました。

パーパスは、全行員から案を募集し、行員による複数回の検討会議や意見吸収（1,197件）などを経て、ボトムアップにより策定いたしました。

パーパスに込められた想い

東和銀行は、地域社会の一員としてお客さまに寄り添い、ニーズや課題の共有と最適な提案で、お客さまの持続的な成長を応援します。

これからも私たちは、お客さまが描く未来を確かなものにするために、お客さまの事業と地域経済を支えるという揺るぎない信念のもと、必要とされる金融機関として経済・社会・文化の発展に尽くしてまいります。

- お客さまを起点とした「TOWAお客様応援活動」を通じて、地域のお客さまに様々な価値を提供することで、地域経済をはじめ、株主、従業員に対して更なる価値を生み出す
- 当行の収益力を高め、「TOWAお客様応援活動」を加速させることで、このビジネスモデルの持続可能性を高める



ともに豊かな未来を創造する

～「TOWAお客様応援活動」の進化に向けて～

資本効率性

ROE
7%を上回る水準

収益力

コア業務純益
120億円 以上

健全性

自己資本比率
10%台

～2033年3月末
第3次中期経営計画

～2030年3月末
第2次中期経営計画

2024年4月～2027年3月末
第1次中期経営計画

TOWA Future Plan I

3rd
STEP

2nd
STEP

1st
STEP

2009年9月～2024年3月末
中期経営計画「プランフェニックス」
TOWAお客様応援活動の強化・深化

基本戦略 I

TOWAお客様応援活動の強化・深化

お客さまや地域に対してアウトプットする具体的施策

▶ 真の資金繰り支援



▶ 経営改善・事業再生支援



▶ 本業支援



▶ 資産形成支援



基本戦略 II

ビジネスモデルを支える態勢の強化

▶ 業務の選択と集中



▶ DXの推進



▶ 人的資本向上に向けた取組



▶ SDGsの取組み



基本戦略 III

ローコスト・オペレーションの確立

▶ 効率的な店舗運営



▶ 異業種・他行とのアライアンス



基本戦略 IV

責任ある経営体制の確立

▶ ガバナンス態勢の強化



▶ IR・統合報告書等の充実

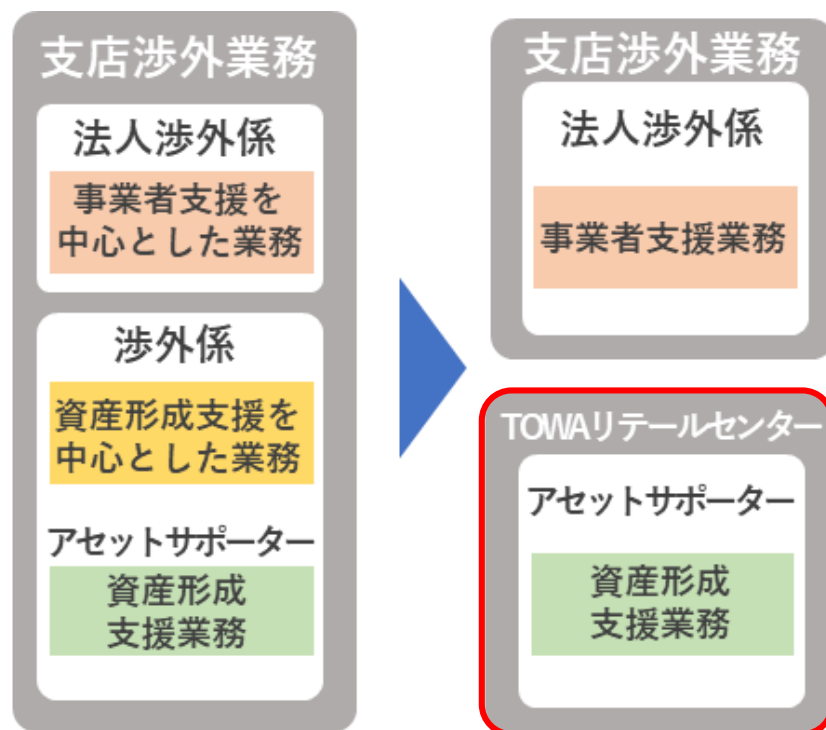


▶ リスク管理体制の強化



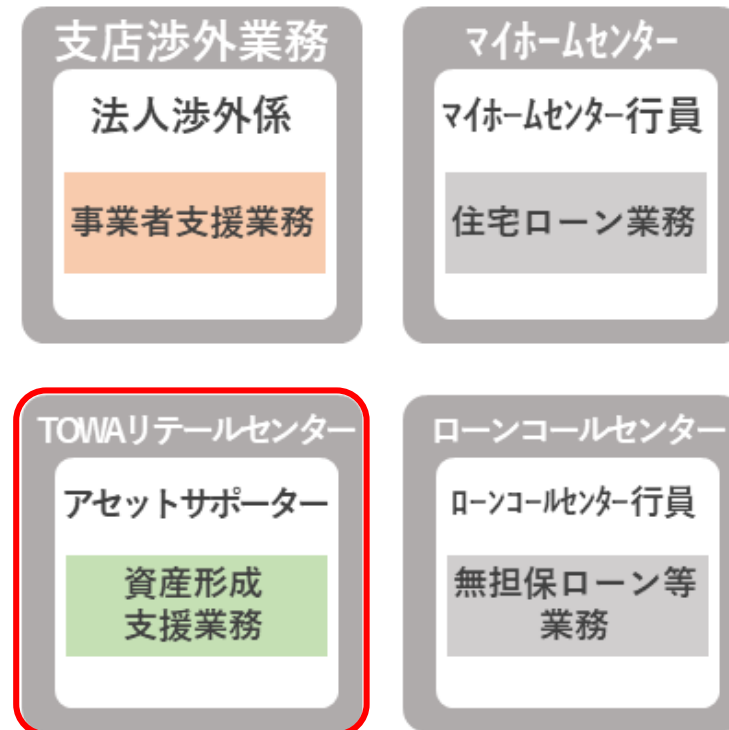
アウトプットを加速させるための「土台」となる具体的施策

支店渉外業務の分業化



TOWAリテールセンターを本部に新設し、これまでの支店渉外業務における「事業者支援業務」と「資産形成支援業務」を分離

今後の分業体制

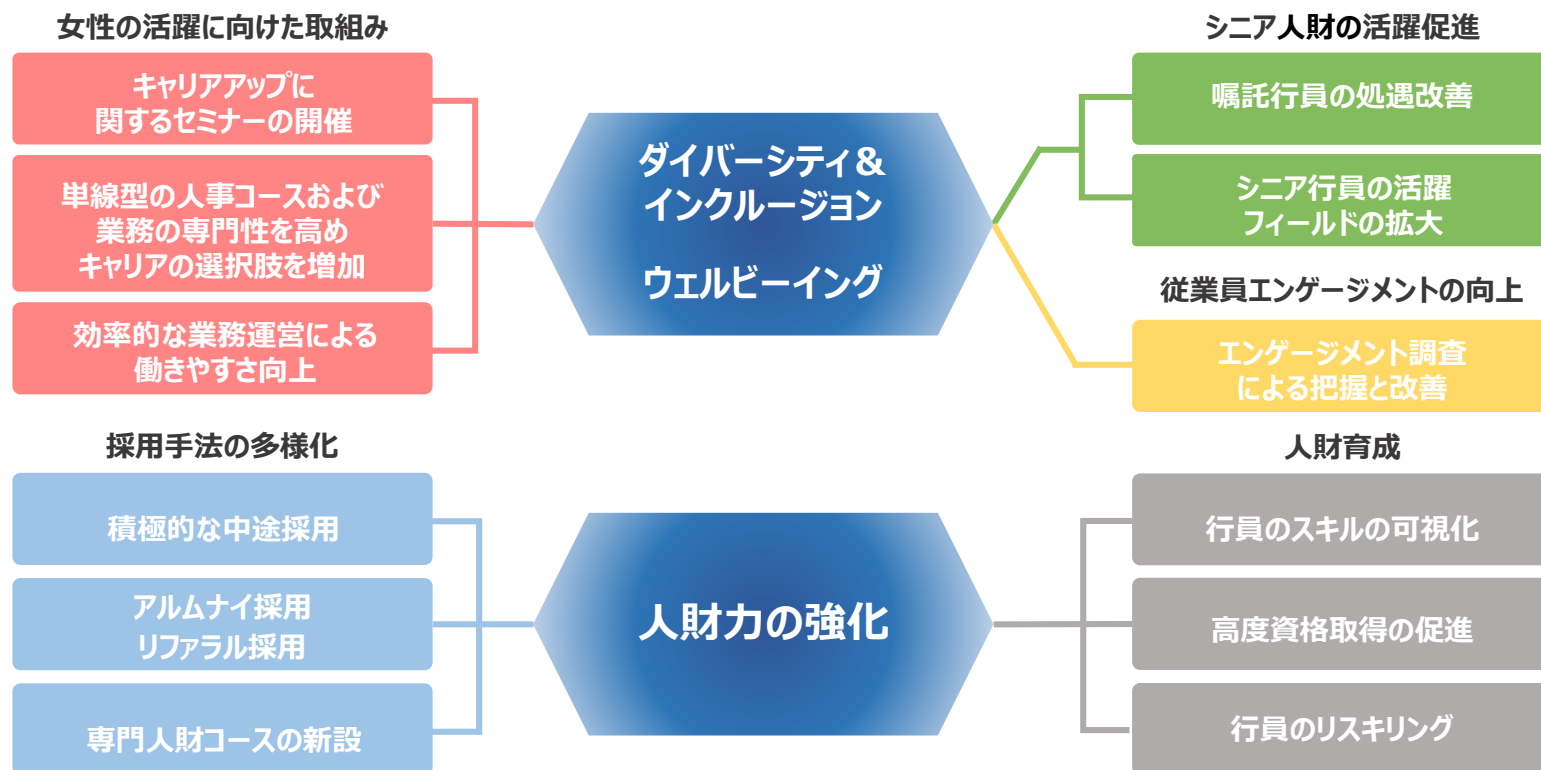


これまでのマイホームセンター、ローンコールセンターとあわせて、分業体制を確立

 : 新設



1. 人財戦略における具体的な施策



2. ベースアップの実施（2025年4月実施予定）

対象者	全役職員
実施内容	平均8.8%程度（定期昇給を含む）

あわせて、定年退職により継続雇用嘱託となった職員の処遇の見直しについても実施する方針。

▶ 基本戦略Ⅱ
業務の選択と集中



▶ 基本戦略Ⅱ
人的資本向上に向けた取組



▶ 基本戦略Ⅲ
効率的な店舗運営



▶ 基本戦略Ⅳ
IR・統合報告書等の充実



1. 店舗体制の整備

✓ 複数店舗同士のグループ化（特化店化）による店舗体制の見直し



2. クイックカウンターの導入

✓ 2024年12月で予定していた50店舗への導入を完了



▶ 基本戦略Ⅱ
業務の選択と集中



▶ 基本戦略Ⅱ
人的資本向上に向けた取組



▶ 基本戦略Ⅲ
効率的な店舗運営



▶ 基本戦略Ⅳ
IR・統合報告書等の充実



1. 株主・投資家、従業員との対話

- ▶ 2024年6月 決算説明会（IR）を初開催 ▶ 頭取と行員との座談会を定期的開催



2. 統合報告書の充実



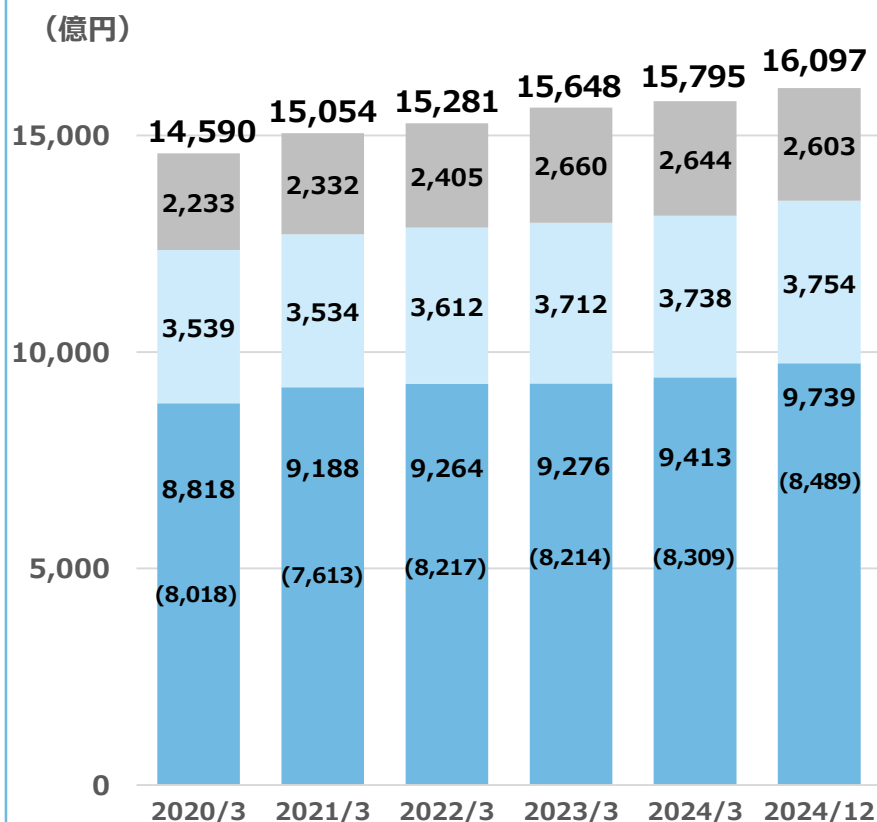
- ▶ 2023年度～
投資家の東和銀行への理解に向けて
「統合報告書」を公表

2025年3月期 第3四半期決算について

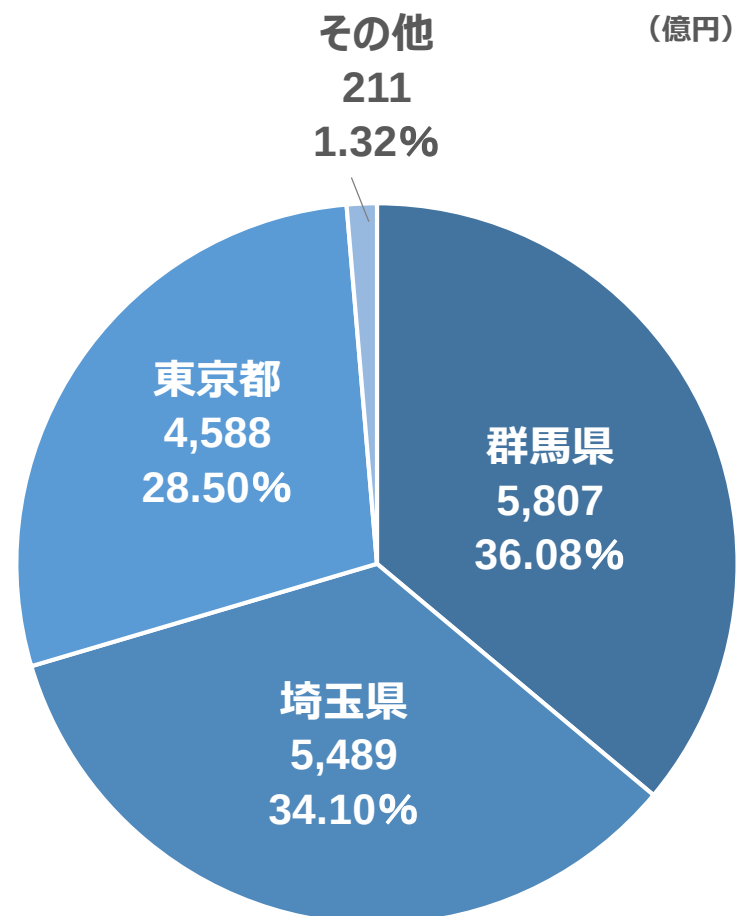
THE TOWABANK

主体別 貸出金残高（末残）の推移

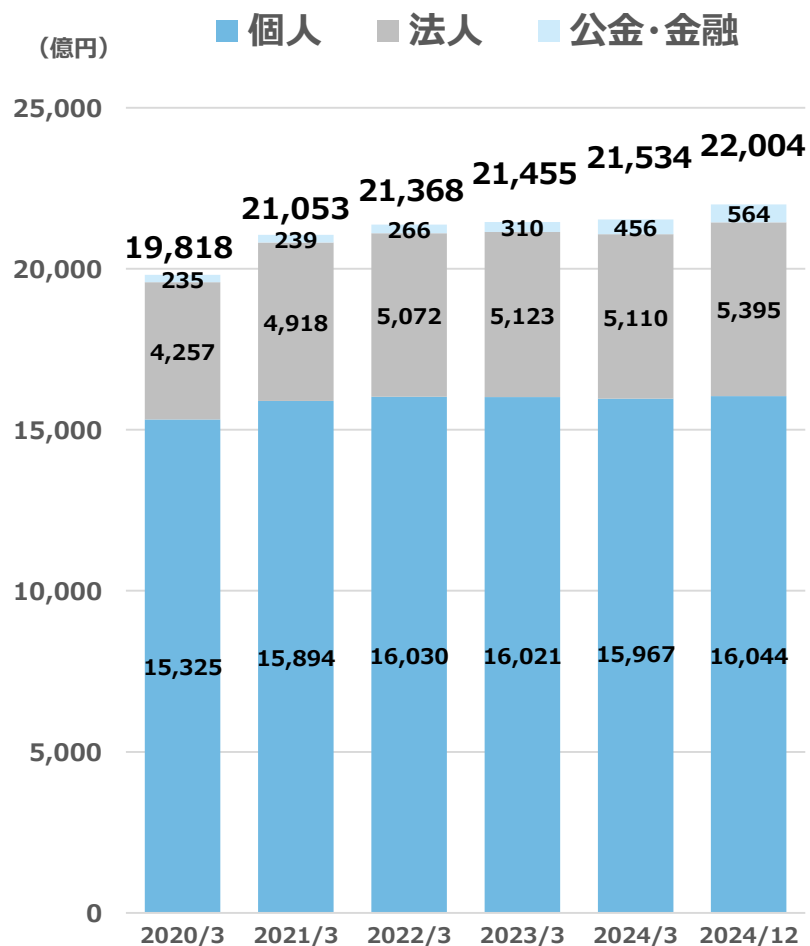
- 地方公共団体
- 個人ローン
- 事業性貸出（うち中小企業向け）



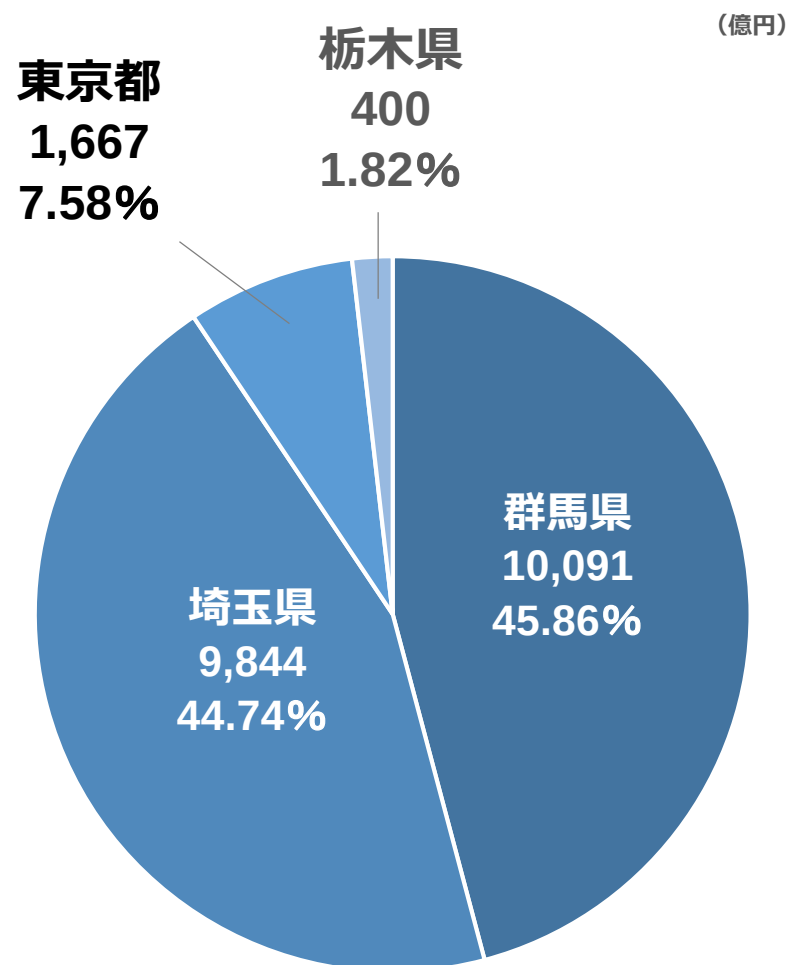
都県別の貸出金残高（2024/12）



主体別 預金残高（末残）の推移



都県別の預金残高（2024/12）



✓ 損益関連指標は既に通期業績予想を上回る水準

通期業績予想 (A)		足元実績 (B)	進捗 (B) - (A) (億円)	
【単 体】	2025/3	2024/12	差額	進捗率
業務粗利益	247	185	△62	
資金利益	220	166	△54	
役務取引等利益	27	19	△8	
その他業務利益	1	0	△1	
経費	209	152	△57	
実質業務純益	37	33	△4	89%
コア業務純益	37	33	△4	89%
業務純益	37	32	△5	86%
経常利益	20	30	10	150% ○
当期純利益	15	19	4	126% ○
<信用コスト>	29	10	△19	

【連 結】	2025/3	2024/12	差額	進捗率
経常利益	20	30	10	150% ○
親会社株主に帰属する当期純利益	15	19	4	126% ○

※表上での計算

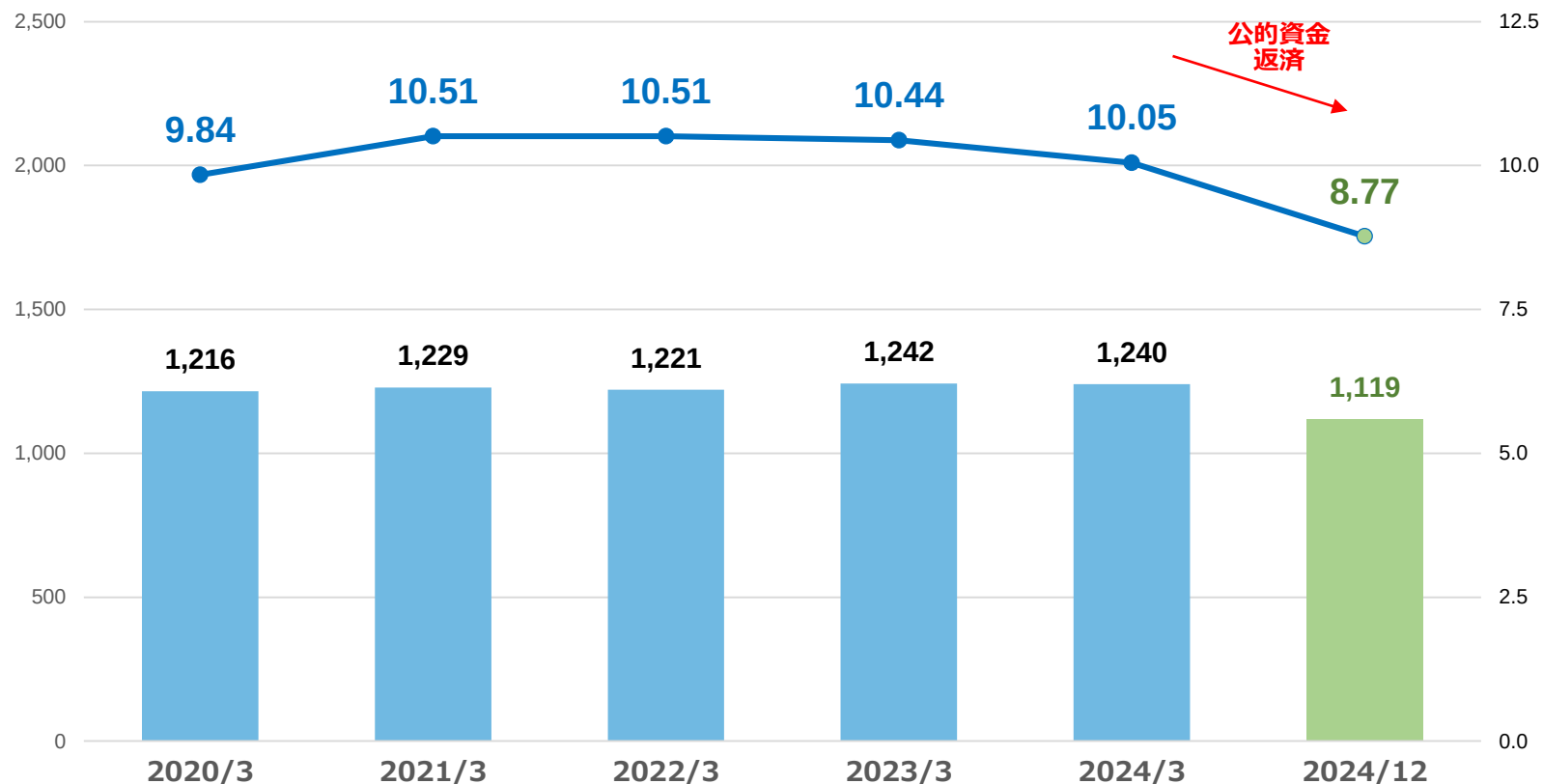
自己資本比率

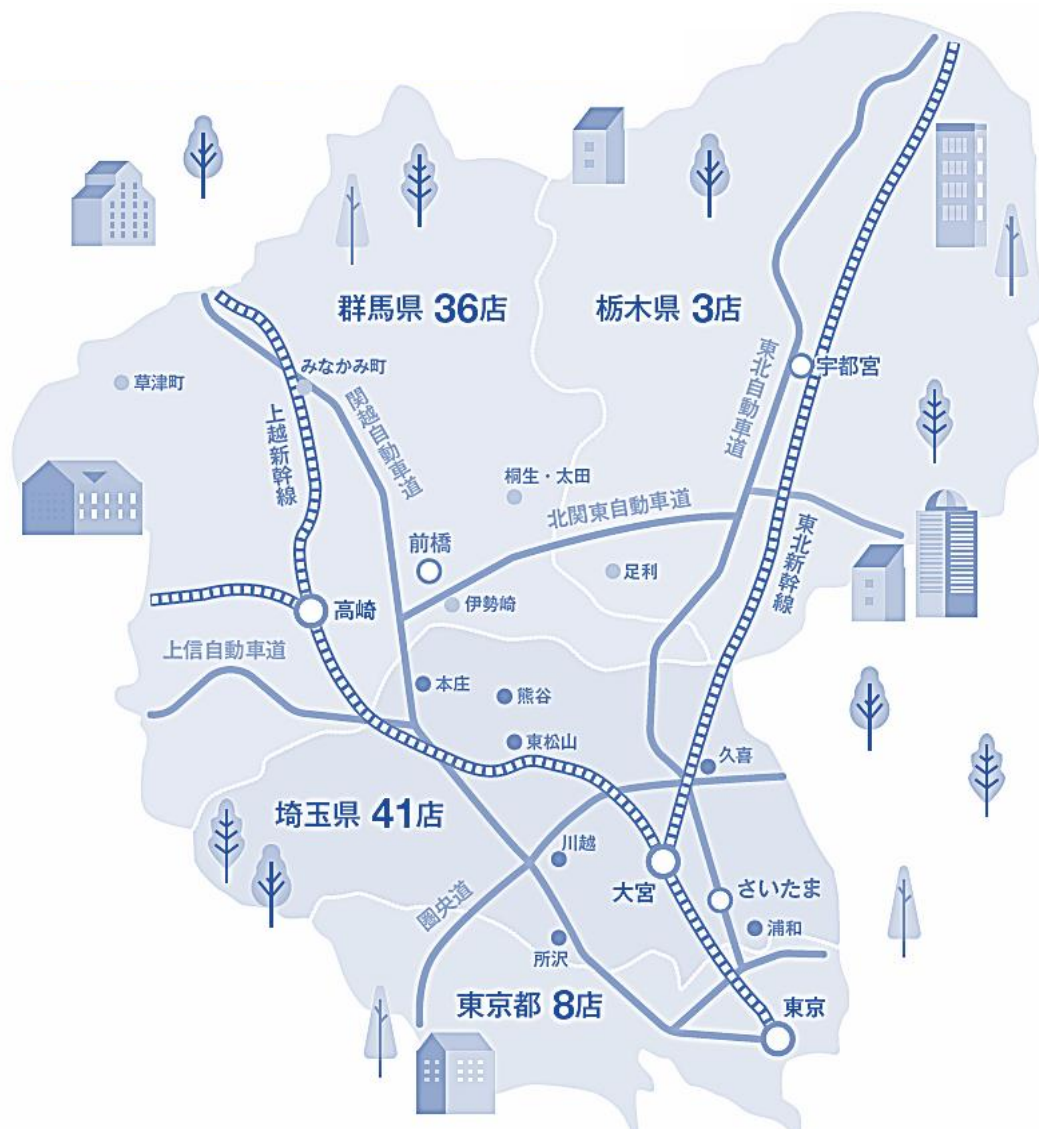
■ 自己資本の額

● 自己資本比率

(億円)

(%)





店舗数

※インターネット支店等を除く

群馬県 36

埼玉県 41

東京都 8

栃木県 3

(2024年3月31日現在)

プロフィール (2024年3月31日現在)

創立	1917年6月11日
本店所在地	群馬県前橋市本町二丁目12番6号
代表電話番号	027-234-1111
ホームページURL	https://www.towabank.co.jp/
資本金	386億円
発行済株式総数	4,468万株（普通株式 3,718万株 第二種優先株式 750万株）
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 証券コード番号 8558
総資産	2兆3,951億円
預金	2兆1,534億円
貸出金	1兆5,795億円
店舗数	91店舗（群馬県36 埼玉県41 東京都8 栃木県3） （その他インターネット支店1及び振込専用支店2）
店舗外ATMコーナー	75ヶ所
従業員数	1,229人



沿革 | 東和銀行のあゆみ

東和銀行は1917年6月11日、地域のための銀行として設立し、地域の皆さまの信頼にお応えできるよう助んでまいりました。今後も、より一層地域の皆さまのお役に立ち、ともに豊かな未来を創造する金融機関であり続けます。

ともに助け合う金融機関として

- | | |
|--|-----------------------------------|
| 1917 現在の群馬県館林市において、群馬貯蓄無尽株式会社創立 | 1951 小川無尽株式会社と合併
株式会社大生相互銀行と改称 |
| 1918 群馬無尽株式会社に商号変更し、
本店を群馬県前橋市に移転 | 1973 深川信用組合を合併 |
| 1942 群馬無尽株式会社、関東無尽株式会社、上毛無尽株式会社
が3社合併し、群馬大生無尽株式会社設立 | 1977 赤羽信用組合を合併 |
| 1949 大生無尽株式会社に商号変更 | 1979 新本店落成
(現在の本店建物) |

地域に開かれた金融機関へ

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1989 普通銀行に転換し、
株式会社東和銀行と改称 | 1996 お客さまをサポートする組織として、
当行のお客さまを会員とする「東和新生会」を発足 |
| 1990 東京証券取引所
市場第二部上場 | 2000 インターネットバンキングやモバイルバンキングを利用
した「東和銀行ダイレクトサービス」の取り扱いを開始 |
| 1991 東京証券取引所
市場第一部指定 | 2006 セブン銀行とATM利用提携開始 |
| 1993 信託代理店業務
開始 | 2012 お客さまの課題等を把握し、その課題を解決するための
提案を行うなどの付加価値の高いサービスを提供する
「TOWAお客様応援活動」を開始 |
| | 2014 栃木銀行・筑波銀行と北関東地域銀行3行による
「地域経済活性化に関する広域連携協定」締結 |

地域に寄り添う金融機関へ

地域とともに発展する 金融機関へ

- | | |
|---|---|
| 2017 創立100年を迎える | 2019 「東和銀行SDGs宣言」を制定 |
| 2020 SBIグループと地元企業向け共同
ファンドを設立 | 2021 お客さまが資金繰りの心配なく
事業に専念できる環境作りを行う
「真の資金繰り支援」を開始 |
| 2022 「サステナビリティ基本方針」の
制定
東京証券取引所プライム市場へ
移行
TOWA脱炭素コンソーシアムの
形成 | 2024 経営強化計画
「プランフェニックスⅥ」終了
公的資金完済
パーパスの策定
第1期中期経営強化計画
「TOWA Future Plan I」開始 |

ともに豊かな「未来」を
創造する金融機関へ

培った経営資本

人的資本	
- 多様な知識を有する人材 - 性別を問わず働きがい・やりがいのある行員が育つ職場環境 - 充実した人材強化制度	定員データ 2024.3時点 FP1級・2級保有者 529人 高度資格保有者 43人
社会・関係資本	
1都3県にまたがる営業基盤 - 支店ネットワーク - 北関東3行連携	[地域別貸出金] 群馬県 36.08% 埼玉県 34.33% 東京都 28.24% 栃木県 1.35%
知的資本	
- 事業を評価する能力（目利き力） - 多様なソリューション手法	「TOWAお客様応援活動」で培ったノウハウ
財務資本	
- 健全な資産 - 充実した自己資本	貸出資産 21,534億円 貸出資産 15,795億円 自己資本比率(単体) 10.05% (公的資金返済後2024.6年: 8.76%)

社会の動き

1923年
関東大震災

1929年
世界恐慌

1941年
太平洋戦争

1964年
東京オリンピック

1970年
日本万国博覧会

1973年
第一次オイルショック

1979年
第二次オイルショック

1985年
プラザ合意

1987年
ニューヨーク市場株価大暴落
(ブラックマンデー)

1991年
バブル崩壊

1995年
阪神淡路大震災

2005年
ベイオフ全面解凍

2008年
リーマン・ショック

2011年
東日本大震災

2013年
日本銀行が「量的・質的
金融緩和」導入

2016年
日本銀行がマイナス金利政策導入

2020年
新型コロナウイルス感染症
(COVID-19)の世界的流行

2024年
日本銀行がマイナス金利政策解除

